

SAPPORO子ども未来トーク2023

【概要】

【開催日時】

令和5年1月13日(金)
10:00~15:00
令和5年1月14日(土)
10:00~15:00
令和5年1月15日(日)
10:00~16:00

【開催場所】

札幌留学生交流センター

【主催】

(公財)札幌国際プラザ

【共催】

札幌圏大学国際交流フォーラム

【後援】

札幌市、札幌市教育委員会、
札幌市小学校長会、
札幌国際理解教育研究会

【協力者】

エルヌラ・シェリエヴァさん
(キルギス/留学生の配偶者)、
マズル・ミハウさん(ポーランド/
北海道大学新渡戸カレッジ教員)、
ダニエル・ディナルディさん(イタリア/
会社員・デザイン系)

本事業は、国際的な視野を持ち未来を切り開く力を持った青少年の育成を目的に実施しています。

今回は市内の小学6年生11名が、1月13日から計3日間のプログラムの中で、多文化共生とは何か、グループでの対話を通して考えました。また、事業を通して、公募で集まった大学生8名が、ディスカッションの支援など子どもたちのサポートに当たり、共に学びました。

子どもたちは、札幌市内に住む3名の外国人から、日本に来て遭遇したカルチャーショックや、子育ての苦労など、彼らが札幌や日本に外国人として暮らして体験したことや感じたこと、さらにはユニバーサルデザインの話などを聞きました。そして、彼らと同じまちに住む身近な存在として感じるとともに、彼らから聞いた内容をヒントに、札幌が「国籍や文化をこえて誰にでもやさしいまちになるには」どうしたらよいか、自分たちに何ができるかを話し合いました。

最終日の3月15日(日)には、考えたアイデアを3つのグループに分かれて発表。誰もが生活に必要なサービスを利用しやすくなるよう、多言語のアプリ、ピクトグラムなど活用、子育てにやさしい施設などを提案しました。

発表の様子は参加児童の家族など関係者に向けてライブ配信されるとともに、会場となった札幌留学生交流センターに居住する留学生が観覧しました。また、発表内容の録画は、札幌国際プラザの公式YouTubeチャンネルで一般公開されています。



札幌在住の外国人による体験談



皆で出しあった考えをまとめる



成果発表

子どもたちは札幌に住む多様な外国籍の人々や、他の小学校の児童、大学生などと、直接会って交流できる楽しさをかみしめるとともに、「自分たちのアイデアを実践したい」、「自分も留学したい」など、新たな夢への挑戦を胸に旅立って行きました。

(公財)札幌国際プラザ 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
TEL 011-211-8232 FAX 011-211-3673 <http://plaza-sapporo.or.jp>